

授業科目 基本工作実習 II

【担当教員名】 須田 裕紀、藤枝 温子、大沼 雅之、 高橋 素彦		対象学年	1	対象学科	義肢
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	4	時間数	120
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【一般目標：GI0】 「基本工作実習 I」に引き続き、義肢装具および福祉用具等の製作に必要な基礎的な技能を身につけるために、下腿義足の製作を通して、ものづくりに取り組む姿勢や態度、材料に関する知識や加工技術、機械工具等の知識や取り扱い方法、安全に作業ができる環境作りなどについて習得する。またこれらの実習を通して“ものづくりの精神：Workmanship”について学ぶ。					
【行動目標：SB0】 1. 本科目の評価方法を理解している。 2. ものづくりに従事する者に求められる姿勢（遅刻・欠席・提出物など）や態度（身なり、言葉使いなど）を実践できる。 3. 材料の名称や特徴、用途、加工方法について説明できる。 4. 機械・工具・設備の名称と用途、取扱い方について説明・実践できる。 5. 安全に作業ができる環境について説明できる。 6. 品質の高いものづくりに取り組むことができる（ものづくりの精神：Workmanship）。					
回数	授業計画・学習の主題	SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	ガイダンス・基本工作実習 2 概論		説明および講義		
2	ハッカー受け加工（金属材料：炭素鋼）		講義および実習		
3	足板加工（金属材料：ステンレス鋼）1		講義および実習		
4	足板加工（金属材料：ステンレス鋼）2		講義および実習		
5	側方支柱加工（金属材料：ジュラルミン）1		講義および実習		
6	側方支柱加工（金属材料：ジュラルミン）2		講義および実習		
7	半月加工（金属材料：ジュラルミン）		講義および実習		
8	組み立て		講義および実習		
9	採型（ギプス包帯材料）		講義および実習		
10	陽性モデル作製（石膏材料）1		講義および実習		
11	陽性モデル作製（石膏材料）2		講義および実習		
12	プラスチック成形（プラスチック材料：熱可塑性樹脂）		講義および実習		
13	トリミング		講義および実習		
14	カフベルト作製（皮革材料）		講義および実習		
15	まとめ（評価）		評価		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料		H25 年度版 基本工作実習 1・2 テ 東江由起夫・須田裕紀・藤枝温子・大沼雅之他			
【評価方法】 以下の三項目を総合評価する 1. 知識習得レベル 50% 2. 技術習得レベル 40% 3. 姿勢・態度 10%		【履修上の留意点】 原則、授業の 1 / 3 を欠席した者は、科目評価資格を失うものとする。また欠席 1 回につき - 5 点、遅刻 1 回につき - 2 点、遅刻 2 回につき - 5 点を、最終評価から減点する。			